

第3回夢追い長島花フェスタ

たくさんの催しで盛り上がる

3月30日から開幕した第3回夢追い長島花フェスタは、期間中、さまざまなイベントが開催され、町内外から多くの来場者が訪れ春の長島を満喫しています。

4月16日、花フェスタグラウンド・ゴルフ大会が、川床コミュニティ運動広場で開催されました。この大会には町内はもとより北薩地区から96チーム、約500人が参加し、汗を流しました。団体の部では「高尾野東部3組」が、個人の部では阿久根市脇本の筒豊志さん（上原GG同好会）が優勝しました。

21日は、第2回夢追い長島花フェスタ旗争奪ちびっこソフトボール大会が、同運動広場で開催されました。大会は、どの試合も熱戦が繰り広げられ、応援に駆け付けた保護者らから多くの声援が送られました。16チームが争ったトーナメント戦は、出水中央ソフトボールスポーツ少年団が優勝しました。

サンセットの丘会場では、フラワーアレンジの体験教室やデコレーション石けんづくり、川床ふれあいの郷会場内の「花カフェ」では、コケを使ったけけ玉づくり教室などが開かれます。



→熱戦となった「第2回夢追い長島花フェスタ旗争奪ちびっこソフトボール大会」



ラウンド・ゴルフ大会のグ

た。

このほか21日から28日には、長島町文化ホールでのロビーで押し花展示会が開催され、押し花インストラクターの井上京子先生（ふしぎな花倶楽部所属）らの作品が展示されました。花や葉っぱなどの植物を、台紙の上に一枚ずつ丁寧に重ね合わせ、風景などを描く作品は、まるで絵画のようで観る者を圧倒するものばかりでした。

27日から29日にかけてサンセットの丘会場内の農園で実施された、じゃがいも掘り取り体験は、大勢の参加者でにぎわい、福岡市から参加した池田英樹さんは「掘り取り体験を楽しみにして、朝早く福岡を出発して来た。去年は1日遅れで参加できなかったが、今年は参加できて良かった」と満足。息子の翔琉君（5）は「初めてジャガイモ掘りをした。大きいのがたくさん採れて、楽しかった」と大きな声で話してくれました。

こけ玉づくり教室に参加した、唐隈集落の兒島美由紀さんは「花の根元に粘土を上手に包むところが難しかったが、思ったよりも手軽にできた」と楽しんで様子で話しました。



↑福岡市から参加した親子連れ



花カフェスタッフが指導する「こけ玉づくり」←



→柴さとみさんによる「デコレーション石けんづくり」